

春闘勝利に向け総行動



国労東北総決起集会 国労仙台総行動



No. 2673
2014年3月20日
発行責任者 大沼 元
編集責任者 武田 昌仙

400人を超える仲間が結集

3月7日、仙台市内において2014春闘勝利！国労東北総決起集会が開催され、総勢435人の仲間が仙台市民会館に結集した。集会は二部構成で行われ、第一部として、一般財団法人国鉄労働会館主催の東北労働講座が、また第二部は、国労東北春闘勝利総決起集会が行われた。

決起集会は東北協議会大沼事務局長の司会で開会し、主催者を代表して国労東日

続いて来賓として、社民

党宮城県連合会田山副幹事長、

日本共産党宮城県委員会から

角野県民運動委員長、宮

城県平和労働組合議長菅原事務

局長よりそれぞれ連帯の

あいさつを受けた。

また仙台地本歌川副委員

長からは東北地方交通運輸

産業労働組合協議会が実施

した交通事情視察（台湾）

報告を受けた後、決意表明

として盛岡地本佐々木副委

員長、秋田地本後藤書記長、

仙台地本歌川副委員長がそ



会場を埋め尽くした東北の仲間

東北労働講座



講演する清藤氏

労働講座では弁護士の清



仙台市内を整然とデモ行進

本副議長の閉会のあいさつ
後、佐藤議長の団結頑張ろ
うで締められた。
集会後に参加者は4ブロッ
クに分かれ仙台市内をデモ
行進。
賃上げを始めとした労働
条件の改善や安全問題など
の国労要求をシュプレヒコー
ルで市民にアピールし、気
勢を上げた

2・16 全国委員長・書記長会議
2・19 春闘事務局会議
2・22 第125回定期地方委員会
3・2 仙台工務協拡大幹事会

大衆行動で春闘勝利！

国労仙台総行動

地方本部は、14年春闘勝
利に向けた取組みの一環と
して、今年も仙台市内にお
いて仙台総行動を実施。例
年、チラシ配布行動に始ま
り、集会及び座り込み、デ
モ行進とほぼ一日の大衆行
動を展開してきた。

しかし今年は翌8日に福
島県内3箇所において「原
発いらない！福島県民大集
会」が予定されており、反
原発の運動にも精一杯取組
み参加することを決定。

東北総決起集会と合わせ
て二日間に渡る大衆行動を
1日に圧縮し、東北総決起
集会の前段に早朝チラシ配
布と集会を開催した。

集会開会にあたり、昨年
3月に現職死亡された二人
の組合員に対して黙祷が捧
げられた後、各地から結集



勾当台公園での集会

した311人の組合員らを
前に大沼委員長は、14春闘
情勢を述べた後、「震災の
影響はまだ残るが、生活再

諸要求を街頭で訴える

仙台総行動の一環として、
集会の前段には、仙台支
社前と仙台駅東口の2ヶ
所で7時30分から早朝チ
ラシ配布行動が取り組ま
れた。

チラシには、「14春闘」
「安全運行に逆行する業
務委託化・安全問題」
「ノンアシベスト化」

3・7 仙台総行動・東北総決起集会
3・8 原発いらない！福島県民大集会
3・14 第7回執行委員会
3・15 各支部組織部長会議

「反原発と放射能問題」
「JR貨物と安全問題」
「消費税増税反対」など、
多くの課題と要求が書き
込まれており、広く市民
にアピールを行った。
参加者によれば支社前
の行動では、開始から30
分程度で350枚のチラ
シを配り終えたという。

要旨 東北総決起集会主催者

松井委員長あいさつ



◆春闘は労使の力関係や交渉を通じて決定されるもの。安倍政権は賃上げを政治的パフォーマンスに使用。働くものの側に取戻すことが課題。

◆国労の取り組み。3月3日、戦術委員長会議とエリア代表者会議を開催。ストを含めた戦術と配置だが、国労要求の回答指定日は14日であり、労働協約では事前通告が10日前のため3日に決定する必要があった。会議の結果は、14春闘方針と具体的取り組みについて、ストの戦術配置と行使以外で取り組む結論に。

◆東日本本部の主張。戦術委員会では「本州3社は経営順調であり戦術行使の議論もある。しかし国労は貨物含めて7社と交渉の状況。スト戦術行使を3社に限定するのは全国単一組織である国労としてどうか」「3社でも数字が違ふことが予想され、いつ・だれがどこで何を基準に戦術を行使するのか「問題」と主張。今後も議論を重ねたい。

◆今後の課題。貨物会社に対し「構造矛盾」というが、JR発足から27年経過し、我々国労も対応しきれない仕組み、システムに陥っていることが春闘を通じてクロージアアップされた。交渉を担っているものが判断できなければ会社は相手にしないという現実がある。国労を国労らしく将来に残すために今あらゆることをすべき。課題を出し合い議論することが重要。

◆各地で集会が開催されている。東北も国労としての春闘の見方、向き合い方を変えていこうという大きな流れの中にいる。全体的な意思統一を図り、

議論しながら課題の克服をしていく。

佐藤議長あいさつ



■拡大中央委員会で統一賃上げ要求1万円を決定、2月12日全社に申し入れ、3月14日を回答指定日とし取り組みを強化。

また東日本本部は1万円プラス所定昇給額に消費増税分の上乗せをし申し入れを実施。貨物会社は既に2回の交渉を終えている。全組合員が一丸となって総行動を成功させ、職場や地域に大きくアピールしていくことが要求実現の後押しとなる。

■春闘は59年前、55年1月東京都内で開催された春季賃上げ闘争総決起大会が始まり。日本の主流は企業別労組であり、産業別労組と比較し企業別間競争を口実にした攻撃に弱く、春闘は産業規模や国民的規模で共闘することによってこれを克服する闘いとして発展してきた。今春等では大幅賃上げでデフレを脱却し、雇用と暮らしを守る重要な闘い。

■安倍政権は、特定秘密保護法の強行採決、憲法解釈の変更を狙う集団的自衛権の行使容認、武器輸出見直し、労働者派遣法の改悪等、危険な反動政治であり闘いの強化を。4月から消費税増税、社会保障制度の切り下げ等で負担増。我々国労の要求と共に全ての労働者・国民を視野に、共通する課題で地域共闘の仲間とスクラムを組むことも大切。

■職場労働条件改善、仕事総点検運動をはじめ、現場での闘いを基礎に、目に見える形での取り組みから、喫緊の課題である組織拡大へと結びつけることが重要。実現に向け職場・地域から創意工夫した取り組みを展開しよう。

健康で人間らしく

婦人部定期委員会

国労仙台地本婦人部第99回定期地方委員会を2月8日、国労宮城県支部事務所において開催しました。

当日は南岸低気圧の影響で、首都圏を始め各地で大荒れの天候で、仙台市内も近年にない降雪に見舞われ、

退職のお知らせ

2月28日付

原 弘治さん

自動車岩手県
(JRバス二戸)

安部 寿昭さん

仙台保線区
(日本線路技術)

高橋 修さん

仙台保線区
(仙建レールセンター)

高橋 慎一さん

仙台保線区

伊藤 清悦さん

小牛田保線区

星川 千尋さん

新庄連合
(第一建設新庄)

年野 孝次さん

会津若松地区

橋本 克美さん
郡工装置科
長い間お疲れ様でした

交通手段に影響が出ましたが、しっかりと開催することが出来ました。

委員会では、この一年間の活動を振り返り総括し、向こう一年間の方針を決定し全体で確認してきたところです。婦人部は少数になりましたが、今後も職場や

社会で女性の立場から健康で安心して働き続けられる労働条件の確立に向けて団結して闘い続けます。

【真砂】

2013年度 常任委員

婦人部長 真砂 久子

副婦人部長 加藤 和子

仙台駅

常任委員 横山 幸子
ビジネスえきねっとセンター 斉藤 志津子

同 佐藤 歳子

同 富田 啓子

仙台病院

2013年度派遣役員

東日本本部婦人部常任委員

富田 啓子

地元職場で乗務に

1月30日小牛田運輸区分会、美里町幸楽食堂で菅原昭彦さん、大和秋男さん

の歓迎会を開催しました。地方本部からは千葉執行員、宮城県支部からは八巻副委員長が駆けつけ激励の挨拶を受けました。

菅原さんは昭和62年4月、仙台駅の直営店へ発令され、以降下馬駅Rあおば、山形運輸区、仙台運輸区への異動発令をされ、また大和さんは平成15年磐城営業所への異動を発令された経過をたどり地元運輸区職場に帰還しました。

歓迎会には、エルダー社員として尽力されたOBも参加され、「長年嫌がらせ扱いされたがエルダー発令と同時に古巣の検修職場に戻った経過がある。こうした組合員相互の節目に仲間が集い団結を強固にすることが国労の伝統の一つであり大変喜ばしい」と激励の言葉を頂きました。

菅原さんは「27年ぶりの陸羽東線・石巻線・気仙沼線の乗務ですがよろしく願います」と挨拶し、また大和さんは「地本はじめ郡山駅連・小牛田運輸区両分会の運動に感謝します。今後は検修班の仲間を郡山に帰す運動を取り組む」と決意を述べました。

歓迎会は盛会のうちに終了し、最後に家子分会長の「団結頑張ろう」で締めくくられました。【千葉】



久しぶりに懐かしい仲間が集う